

PSTで太陽の動画を撮る 躍動するプロミネンス

このところ太陽面が活発で、休日の毎にPSTで観察するのが楽しみになっています。太陽の撮影についても、以前に14年4月号で紹介したPST+QH5-II Mでの組み合わせは、ソフトウェアをFireCapture+Registax6に交換して、動画をスタックすることで劇的に画質の向上を果たしました。

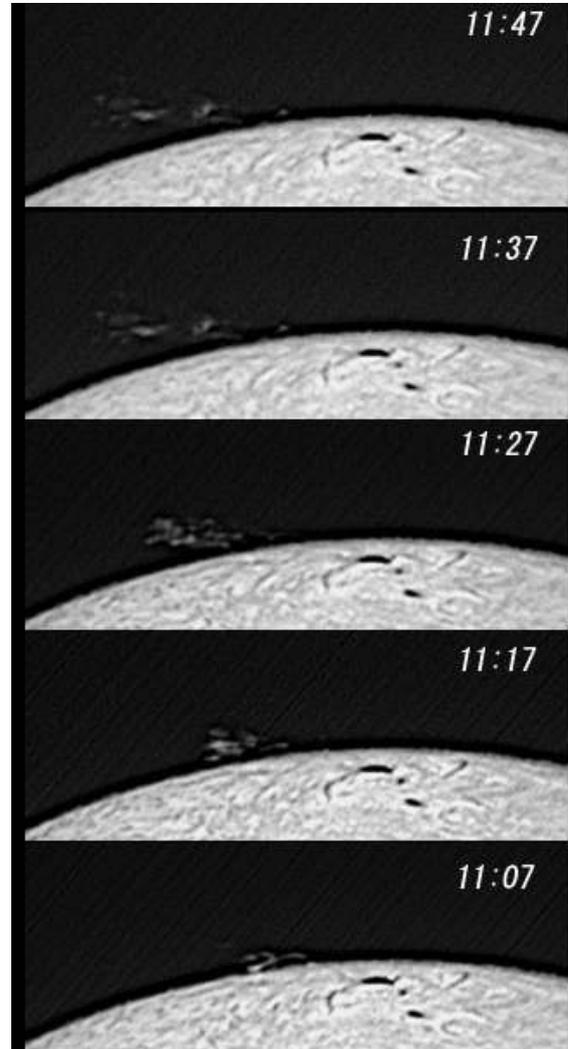
太陽面の現象の中でも、プロミネンスの動きは比較的速いので、少し時間をおいて(1時間程度あれば十分)撮影した画像を見比べるとその動きがよくわかります。しかし、その変化を動画として捉えられないかということで、今回は太陽面のタイムラプスに挑戦してみました。

とはいっても、事は簡単ではありません。冒頭にあるように良質の画像を得るには動画撮影が必須です。結局、5分おきに約300MB分の画像を取り込む作業を地道に繰り返し、約3時間分のデータを蓄積しました。撮影を繰り返す作業はもちろん手動で、望遠鏡(パソコン)につききりになります。おまけに、Registaxでの画像処理も手動でパラメータを定めて同じ作業の繰り返しです。必要なハードディスクの容量もたいがいですが、手作業を繰り返す効率の悪さがたまりません。がまんしてがまんして都合約40枚分の画像処理を行い、位置あわせをしたうえで最後にSiriusCompで動画に仕上げました。

撮影にしても、画像処理にしても、コンピュータ(電子計算機!)で行っている定型作業なだから少しでも自動化したいのですが、とりあえず今回はトライアルということで我慢しました。

できあがった動画は、変化が現れるであろうと期待していたプロミネンスのほうは大した動きは見えませんでした。別のところ(大きな黒点があるところ)で活発な活動が見られて、びっくりの画像が得られました。また、太陽面そのものがじわじわと動いている様子も捉えることが出来て、改めて太陽の面白さに気づかされました。

これは腰をすえてじっくり取り組むと面白そうな感じがするのですが、いかんせん撮影や画像処理の手間をなんとかしないと実用には遠い状況です。せめて撮影だけでも楽にならないものか、思案しています。



10分ごとのプロミネンスの変化

中央の黒点群は、#2192で、近年まれな巨大黒点として賑ったものです。

それにしても、太陽の直径は地球の109倍もあるという大きさを考えると、この活動のスケールの大きさに驚かされます。

メカが大好き あずき懐炉のこと

先日環境関係のイベントを見に行ったとき、肉まんあんまんて有名な某食品会社のブースに立ち寄ったら、「あずき懐炉」なるものを頒布していました。これは何かというと、巾着の中に製造過程でハネられた小豆を詰めてあって、電子レンジでチンをして暖めたくえで懐炉に使うというしるものです。あくまでイベント啓発グッズなので実用性はイマイチですが、確かに湯たんぽ並みの効果はあります。

何より、いざという時には非常食にも使えるというすごい機能がありますし。(但し食べないで！という注意書アリ)

というわけで、これからの天体撮影にお出かけするときには是非ともお供に・・・するわけはありませんね。(笑)



Books & CDs デジタルカメラによる空の写真の撮り方/武田康男

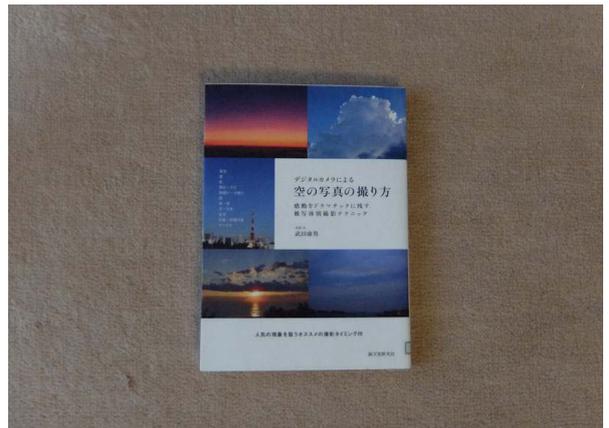
なんともストレートな名前の本であります。

星の写真の中でも、薄明時の景色は趣があつてついカメラを向けるのですが、前景や全体の露出のバランスには無頓着となる場合が多く、いざプリントしてみると、確かに目的の被写体(地球照とか惑星とか)はそれなりに写るものの、全体の写真としてはいまいちなものが多いのがこれまででした、

そんななかで、この本は、青空や雲も含め空の現象を被写体にした写真の撮り方を作例を交えて丁寧に説明していただいている好書であります。記述の内容は、おおむねこれまでの経験で蓄積してきたノウハウそのものなのですが、書籍の形で体系的に説明をいただけると、改めて

復習の意味で役に立ちます。

コンパクトな内容なので短い時間で読めて参考になりました。



編集雑記

9月号がなくなってしまったので、今回は10月号が2つあります。9月はいろいろとせわしなかったのと晴れなかったことが相乗して、本誌の発行がなくなりました。少しでも9月中に星を見ていれば、遅れても何となく制作するのですが、まったく見ていなかったのではネタなしとなってしまいました。いや、情けないことですみません。

表面にも記事にしたように、10月は太陽に注目が集まった1ヶ月間でした。このところ、肉眼黒点が時折現れていましたが、今回の#2192は特大で、太陽の面白さを改めて感じることができました。(下は、10月25日に撮影した可視光とH α の太陽像です。)

Kz_Wada 和田一人 Kazuto.wada@nifty.com

